

環境教育「まず、今できることから」

歴史に学ぶ

発行所：地域環境活性化協議会
 編集者：代表幹事 高橋 賢一
 連絡先：市民活動支援センター
 尾張旭市渋川町三丁目5番地7
 (渋川福祉センター内)
 TEL 0561-51-2878



白鳥に姿を変えてのひとは思われせむほど
 飛ぶにたると伝わるひとつひとつの風景
 日本武尊命が是たをそと心にしまい
 風景とそう変わらないこみたくなる

庄野 しまつの

神話の地へ時間旅行
 東海道第卅五宿
 東海道 五十三次

鈴鹿川堤防に沿って
 ゆるやかに丘にカーブ
 するあたりが本重の
 「庄野の有用」の題文に
 なったところといわれる。
 街道の北側にはヤマト
 タケルの古墳があり、
 この土地に独特の雰
 囲気を添えている。
 女の姿を象徴する
 女人堤防の伝説もおも
 しろい。
 本重のエリア中にも各作
 の風景あり、まずは国道
 沿いの殺風景な場所
 になってしまった。



加佐登神社 ヤマトタケルが死の直前まで
 持っていたという笠と杖をこの神体とする。

ヤマトタケルの死
 手負いの身体で苦しみをから
 杖衝坂を越えたヤマトタケルは
 能褒野という土地にたどり着
 き、国をしのんで詠じた。
 「体は国のまほろばたになづく
 青垣山隠れる 体しうまはし」
 「古事記」に記されているヤマトタケル
 の白鳥伝説である。
 白鳥塚古墳
 能褒野王塚古墳
 がある
 明治三年にヤマト
 タケルの御陵として
 国から指定された。